

『3人のレンガ積み職人』

世界中を旅している人が3人のレンガを積んでいる人に出会い、それぞれに「あなたはここで何をしているのか？」と訊ねた。

- ・一人は「見ればわかるだろ？レンガを積んでいるんだよ」と答えた。
- ・もう一人は「ここで大きな壁を作っているんだよ」と答えた。
- ・三人目は「俺達は歴史に残る大聖堂を造っているんだよ」と答えた。

私たちは、柏中で何をしているのか？

令和6年度 学 校 経 営 方 針

柏市立柏中学校

<学校教育をとりまく社会的背景>

- ・21世紀は、グローバル化、情報通信技術の進展、少子高齢化、絶え間ない技術革新などの急激な社会の変化に伴い、先行きが不透明な社会に移行
- ・量的拡大を追求してきた成長社会から、精神的豊かさや生活の質の向上を重視する平和で自由な成熟社会へと移行し、自己実現を目指して生き方が多様化し、物事の価値や判断を個人が行い、個人が責任を負う状況へと変化



- ・こうした変化を乗り越え、一人一人が豊かな人生を追求し、豊かな社会を実現するため、高い志や意欲を持つ自律した人間として、他者と協働しながら、未来を切り開いていく力を身につけることが必要

※ 自律とは、自分でできることは自分でする、できないことは他者に助けを求めて解決することであり、さらには、自分で考え、判断・決定して、進んで行動したり、夢や目標を持ち、その実現に向けて一生懸命に努力したりすること。

※ 協働とは、知恵や力を合わせて、より良く問題を解決したり、より良いものを創り上げたり、成し遂げたりすること。

1 校訓 自学 勤労 健康 礼儀

2 学校教育目標

『豊かに生きるために必要な知性と徳性を備えた心身ともに健康な生徒の育成』

「知性」とは、物事を知り、考え、判断する能力のことである。直面する問題に進んで取り組み、他者と対話し協働しながら、物事を多角的・多面的で柔軟な思考力や物事を筋道立てて考える論理的な思考力、判断力、表現力等を駆使して解決していく知識と知恵を育んでいく。

「徳性」とは、道徳心のことである。特に、自己肯定感、自律心、自制心などの「自分に関する力」と協調性、(共感する力,) 思いやり、社交性、道徳性などの「人と関わる力」を重視しながら、考え、議論する道徳の授業をはじめとした学校教育活動の全てを通して育んでいく。

2 めざす生徒像 自律と尊重

- (1) 自ら学び，自ら鍛える実力のある生徒 【自学】
- (2) 進んで力を合わせ，粘り強く働く生徒 【勤労】
- (3) 心身ともに健康で，心豊かな生徒 【健康】
- (4) 明るく礼儀正しい生徒 【礼儀】

3 学校経営理念

現行の学習指導要領では、「主体的で対話的な深い学び」「学習の基盤となる資質能力（言語能力，情報活用能力，問題発見・解決能力）の育成」が重視されている。そのため、「子供たちが他者と協働して自他の考えの共通点や相違点を捉え，考えを広げ深めることができる学習の実施」や「子供たちが体験的な学習や繰り返し学習，資料等を活用し自分の考えを書いたり話したりできる学習の実施」，「子供たち自ら課題設定できる指導計画の作成」が必要となる。そして，指導者側の視点である「個に応じた指導」から学習者側の視点である「個別最適な学び」の教育への切り替えも必要となる。われわれ教職員は，21世紀の未来を担う子供たちを育てることが使命であり，そのためには，教職員自身が急速に進展する時代の趨勢（すうせい）の中で「不易と流行」を見極め，不断の「研究と修養」に真摯に取り組む必要がある。

また，子供たちが生きる社会は，人々が豊かな心を持ち，温かな人間関係を築き，秩序ある社会を形成し，文明が進歩し続けるものであってほしいと願う。そのような社会の形成者である子供たちに，教育の不易としての知・徳・体のバランスのある育成と流行である社会の変化に伴って必要となる資質・能力を育成し，「生きる力」を育むことが柏中学校の使命であると考え。すべては子供たちが，将来豊かな社会を築き，幸せな人生を歩むことができるようになるために，学校経営を展開していく。

そのために，「学校は子供たちに『良い習慣』をつける場」であるということの基本理念とする。子供たちに「良い生活習慣」や「良い学習習慣」を身につけることが「生きる力」の源となる。「良い生活習慣」を育むために，さわやかな挨拶，規律ある行動，温かな人間関係，心身の健康，清潔で整頓された環境を大切にする。また，「良い学習習慣」を育むために，「できないことができるようになる，わからないことがわかるようになる」ことを学習活動の基本に据え，主体的，協働的に学び，学ぶ価値や楽しさを実感しつつ，基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力，表現力を高める学習を大切にする。

また，学校は，子供たちが生き生きと活動し，自らの能力を最大限に伸ばしうるような場でなければならない。そのために，「教育は人なり」と言われるように，子供の学びを積極的に支援する教職員は，絶えず学校の教育目標を達成しようとする学校運営の当事者意識を持ち，質の高い指導力を備え，何よりも子供たちに信頼される人間であるべきと考え，研究と修養を重視する。

さらに，保護者や地域住民も加わって活気のある教育活動を展開し，総がかりで子供たちを育てる学校づくりを，計画的，継続的，組織的に推進し，信頼される魅力ある柏中学校を目指す。

4 経営方針

(1) 全職員参画の学校経営

個々の職員が主体的に学校運営に関わり、教育活動を計画的、継続的、組織的に推進する。

(2) 開かれた学校の推進

小学校、保護者、地域との連携による教育活動を展開する。また、積極的に学校の情報を発信し、理解と協力を得る。

(3) 「主体性と協調性」を育む教育の推進

未来の社会をよりよく生き抜くために重要な能力としての「主体性」と「協調性」を育む。

(4) 個に応じた指導・支援と個別最適な学びの充実

個々の生徒の状況を適切に把握して、個に応じた最適な指導・支援と個別最適な学びの在り方を考え、実施する。

(5) 校内の環境整備と安全管理の徹底

生徒の情操を育む場に相応しい清掃の行き届いた清潔感のある学校づくりに努める。事故を未然に防止するための安全管理と安全指導を適切に行う。

(6) 自己研鑽, OJT, Off-JTの奨励

教職員は最大の教育環境であることから、質の高い指導力を備え、何よりも生徒に信頼される人間であるよう、研究と修養に励む。

5 めざす学校像

「いきいき さわやか 高め合う 柏中 2024」

- (1) 学び合える学校
- (2) 伝え合える学校
- (3) 清潔で安全な学校

6 めざす教職員像

- (1) 生徒と向き合い、ともに考え、ともに学ぶ教職員
- (2) 創意・工夫し、授業改善に取り組む教職員
- (3) 生徒・保護者・地域の信頼に応える教職員
- (4) 常に連携し、協働する教職員

7 取り組みの重点項目

(1) 「学び合える学校」づくり…「自信」をつける

子供たちが大人になったときに必要な知識と知恵を身につけるために、「何ができるようになるのか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を重視し、「わかる授業」を工夫しながら指導・支援していく。一時間一時間の授業の中で、「なぜ」「どうして」「どうやったら」という疑問を持って、疑問を解決するために、自分で、そして仲間と考えながら、自ら進んで学習して、確かな学力の育成を図る。

また、夢や目標を持つことは、毎日の努力を積み重ねて、現実をよりよくし

ようとする気持ちを生む。夢や目標の実現に向かって、小刻みな努力の一つ一つが結果となって現れたときの生徒の満足感は、自分への自信と勇気となり、次の活動への意欲につながる。たとえ困難や失敗はあっても、それを乗り越え最後までやり遂げる強い意志が、自分の可能性を伸ばし、人生をよりよく生きる原動力となることを日頃から指導・支援していく。生徒一人一人が伸び伸びと自分の良さを発揮できるように工夫して取り組んでいく。

- ・主体的、協働的な学びのある授業実践（問題解決型授業の実施、協働活動の重視、思考し・表現する活動の実施）
- ・指導と評価の一体化（生徒の実態を踏まえた学習指導、自己調整力を育成する学びの振り返りの実施）
- ・学習習慣・学習規律の定着（家庭学習ノートや学習計画表による指導）
- ・一人一台端末の活用推進（情報活用能力の育成、効率的で効果的な活用）
- ・図書館教育の充実（読み聞かせの実施、学校図書館指導員と連携した授業の実施、ビブリオバトルの実施）
- ・キャリア教育の充実（「いきいき夢プラン」の実施、発達段階に応じた基礎的・汎用的能力「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の育成）

（２）「伝え合える学校」づくり…「信頼」をつくる

中学生は、心と身体がめざましく成長し、活力にあふれ、どんなことにも積極的に取り組める時期である。しかし、自分のわがままや衝動のままに行動してしまう危うさがある時期でもあるため、規則正しい生活習慣を築き、自分をコントロールする強さを持って中学校生活を送ることが大切である。また、困難な状況にも心が折れることなく、しなやかに適応していくレジリエンスを身につけることも必要である。生徒の内面に迫り、生徒理解に基づいた指導・支援に取り組んでいく。

子供たちをとりまく社会環境は大きく変化しており、教育は学校だけで完結することは到底不可能であり、家庭や地域社会の人々との交流や支え合いがあってこそ達成できるものである。家庭・地域との連携を深めつつ、指導・支援に取り組んでいく。

- ・基本的生活習慣の育成（合い言葉「身近な愛」の啓発と実践）
- ・積極的な生徒指導の推進（問題行動の全体共有と即時対応、「理解と納得」を得る指導、令和10年度義務教育学校開校に向けて小中の滑らかな接続のための小中連携の強化、情報モラル教育の実施、消費者教育の実施）
- ・きめ細やかな指導・支援の充実（教育相談活動の推進、校内適応指導教室の有効活用、SC・SSW・関係機関等と連携した支援、「勇者の旅」の実施）
- ・特別支援教育の充実（個々の教育的ニーズに応じた支援、全校体制での支援）
- ・生徒会活動の充実（当事者意識の持てる生徒会活動の展開、「こどもゆいの会」による地域ボランティア活動の実施、「柏っ子宣言」「新・かしわっ子宣言」を活用した生徒活動の実施、「柏中サミット」の実施）

- ・コミュニティ・スクールの推進（年間4回の協議会の実施，地域と連携・協働した活動の実施）
- ・学校情報の積極的な発信（HP・学校だより「かしわっ子」の充実，細やかな情報発信，学校評価結果の活用と公表）

（3）「清潔で安全な学校」づくり・・・「安心」をつくる

子供たちの健やかな心身の成長を図るためには，よりよい教育環境を整えることはとても大切である。人的環境である教職員は人間性豊であるべく常日頃から意識を高く持ち，物的環境である施設・設備は安全な管理に努めるとともに，安心して学校生活を送れるように危機管理体制を整備する。「命」は何ものにも代えがたいものであり，自他の命を大切にするという最も基本的な意識を育むために，様々なアプローチを工夫しながら指導・支援に取り組んでいく。

- ・校内環境の整備（清掃リーダーを中心とした清掃の実施，きれいになる清掃の仕方の指導，物品の整理整頓）
- ・「命」を大切にせる教育の推進（命の授業，性教育の実施，薬物乱用防止教育の実施，いじめ防止教育の実施）
- ・学校事故防止に向けた安全管理の徹底（救命処置講習の実施，食物アレルギーや重大疾病の把握・情報の共有と確実な引継ぎ，交通安全教室の実施，安全点検の確実な実施と即時対応，不祥事根絶に向けた取り組みの実施）
- ・防犯・防災教育の推進（防犯・防災体制の整備，地域と連携した避難所開設・避難訓練の実施）
- ・働き方改革の推進（業務の効率化・縮減のための工夫改善，モラールアップ委員会の実施）

8 大切にしたい10のこと

- 『健康』・・・心と体の健康は，いい仕事の基礎の基礎である
- 『授業』・・・誠実な授業はすべてのトラブルを解決する
- 『言葉』・・・すべての争いは言葉から始まる
- 『信頼』・・・不祥事・不誠実はすべての信頼を崩壊させる
- 『組織』・・・一人の抱え込みが事を大きくする
- 『想い』・・・想いは熱意となり必ず生徒に伝わる
- 『説明』・・・一本の電話が人の心を和らげる
- 『協働』・・・協働することにより和が生まれ絆を強くする
- 『記録』・・・一行の記録が我が身を救う
- 『学び』・・・自己の成長があつてこそその教職である（研究と修養）